

磐城立憲新報

發行日 毎月一日 十五日
 定價 一部金十錢 二部金二十錢
 郵税共 一ヶ年分二圓引 一ヶ月分二角引
 廣告料 一回八十錢 特別欄同
 印刷所 磐石郡磐城村大字下湯長谷三十八番地 磐城立憲新報社

新春を迎ふ

思出多き昭和四年を送り多事多端ならんとする昭和五年の新春を迎ふ。議會は將に滿を持して放たざる形勢にて早くも解散説高く一月廿二三日頃には解散するの確報あり、解散の結果は如何なる情勢を見るのは逆睹し難しとするも現在の勢力よりして現政府の主義方針は到底貫徹するの不可能は明白な事である、従つて國民の安定を計る事も望む處ではない、斯に解散して信を國民に問ふことは必然である、其結果を招來するに意義ある昭和五年の新春にあり、意義深き新春!!このときに當りて我社は一般の精彩を放ち益々操觚界の爲めに萬丈の氣焔を擧げる方針の大にすべての設備を改良し計畫中である、賢明なる讀者の期待に添ふべく一筆以て迎年の挨拶に換ふ。

謹賀新年

大野村 西山新重郎	大野村長 吉田盛治	磐崎尋常高等小學校 校長 柴田正則	植田水力電氣會社 助川新三	錦村 組頭防 山崎登	小名濱漁業組合 組合長 立花雄七	平町長 伏見彦衛
市原病院 市原卯太郎	平町 醫師 藤沼平次郎	平新報社長 山野邊庄吉	平町 關内正一	平町 諸橋元三郎	大野村第一尋常高等小學校 校長 荒川庸幸	大野村第一尋常高等小學校 校長 八幡莊藏

賀
昭
和
館

(平窪村)
 大平自動車部
 松本照
 大黒屋勝次商店
 三井自動車部
 早川材木店
 電話八六二番

緊縮にあらず益々擴張
三井内格の振つた施政方法

三井吳服店の

店舗改築披露の 福引大賣出し

廣告や宣傳ではない。品が良くて
安いから安い。勉強だから勉強だと言ふにある

大英断に思切て、店舗改築の爲め福引大賣出し、中の三井吳服店異にするのみ全く東北の三井は天下周知の通り其の營業越と評するもあいて過言で方針は他店と絶對其の趣きない、常に時代流行の新柄を異にし商略なく政策なく荷着の親玉、又品質堅牢價を眞實勉強を旨として暴利を格の安い勉強の点に於てもむさぶらず且つ又至誠あふ他の追従を許さず、従つてれつゝある店主柏原幸次郎顧客には親切第一をモット氏の念頭には我中町を如何として少しも高ぶらず幾にするか云ふ事に専念努何の品でも責任保證附で販事になりソレからソレい力し總て大局に鑑み事なき買してをるもので信用評判んと欲する所に三井吳服店を常盤線地方に博して居るの今日ある物語るもので此際特に冬物新柄を多量に備ふる所、同店は水戸以北に於入れ陳列室に倉庫に店頭

地方染物界の恩人

草野七五三之助氏

政治手腕あり次回の

縣議改選に推されんか

濱街道に於ける染物業界に五三之助氏は天資聰明にして其人ありと知られる草野七五三之助氏は天資聰明にして其人ありと知られる草野七五三之助氏は天資聰明にして其人ありと知られる

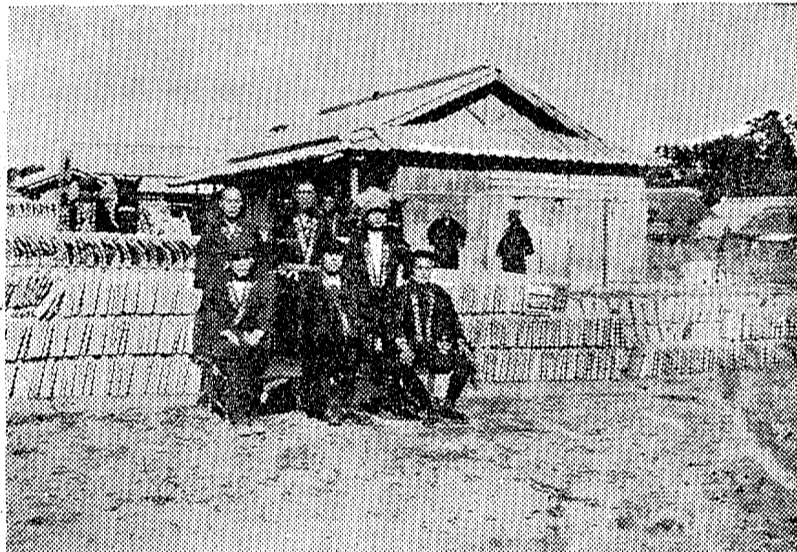
染物工場を新築して改良し又地方民衆より推されて所たる染色法と熟練したる従會議員なり豊富な氏の才業者とに依り模範工場とし能と努力は本郡の爲めに言て知られるに至つた氏は又獻した点少なからず其政治政界に思想界に於ても命令的の手腕よりして將來縣會議あり平町民より推されて町員として縣政に與らしめた會議員となり町治刷新の爲いと望む人が多いら次回のめに盡したる氏の努力は今改選には出馬するかも知れ尙町民の感謝する所であると言はれてゐる。

手腕の人

渡邊熊藏氏

セメント瓦製造に成功

四ツ倉町渡邊熊藏氏は自ら盛況を見てゐる。渡邊氏セメント瓦製造工場を經營は實直人格の人として従業以來地方の信用を得其製造員の尊敬を受け事業的手腕品又他を凌ぐ良質のもので至つては稀に見る人物で



(場工瓦ンメセ)

み青年時代に既に感ずる所ありて京都其他の方面に遊び染業を研究し堅忍不拔の精神は今日の基礎を作るに至つたのである、日常卓越なる識見を以て觀察研究を重ね地方染業に貢献し益々斯業發達改良に意を用い地方染物界の恩人として推敬も相當供給區域を有するに近き將來にあるべしと。

謹賀新年

(平町)

織田材木店
電話四六〇番

榊田榮太郎

阿部材木店
電話八四〇番

佐藤材木店
佐藤 福太郎
電話三三五番

西村屋藥店

中川製材部

渡邊留三郎
電話八〇八番

井上貞次郎
磐城建物會社

柴田書店

明治二十六年創立
社礎堅實支拂迅速

太陽生命保險株式會社

◎終身保險 ◎養老保險

◆愛兒保險

◎我國最初ノ認可
◎生レルトスグラ十年五ヶ月迄加入出來ル
◎診査ガイラス
◎保險料至極低廉
御一報參上

代理店 石城郡磐崎村
久田克位

各種活版印刷

各種紙袋製造販賣

◆迅速 ◆叮嚀
◆親切 ◆正確

株式會社 **甲子堂**
石城郡磐崎村下湯長谷
振替仙台五七〇六番

磐崎商事株式會社

社礎堅實
營業目録
金錢貸付 代理貸付
商品販賣 委託販賣
有價證券 買賣

社長 **久田克位**
所在 石城郡磐崎村

渡邊熊藏

日本セメント製
東洋瓦工業販賣
四ツ倉町
平町案内
宮下秀貫
酒井嘉藏
良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント會社持約店

県道に於ける染物業界に五三之助氏は天資聰明にして方染物業の恩人として推敬も相當供給區域を有するに近き將來にあるべしと。

其人ありと知られる草野七て業努力邁進め氣象に富まれてゐる、最近廣大なる至り下場の俵溢を告ぐるの

日本セメント製 東洋瓦工業販賣 四ツ倉町 邊熊藏

社長 久田克位
所在 石城郡磐崎村

社告

今般本社ノ都合上ニ依リ發行所ヲ左記ニ移轉致シマシタ尙全社經營一切ノ權モ新發行所ニ於テ營ムコトニナリマシタ是非讀者諸兄ノ舊倍ノ御聲援ト御助力ヲ乞フ次第デアリマス

新發行所株式會社甲子堂
磐城立憲新報社

豫告

別記の如く。本社も今回全然經營の組織を變更し來二月一日發行の分より

町村新報
と改題し、記事を精選し、内容の大改善を斗り

社會教化の最先端を行く
衝天の意、清新の氣を以て邁進し、本紙の權威を層一層高からしめんとする副副目として次號を待たれよ!!

平町案内	武藏鐵工所	河田鐵工所	小野常治藥店	阿部治作	綠川徳次郎	鈴木 榮	高木 保	大場 醫院	猪狩金之助	三谷工業所
宮下 秀貫	松本元次郎	藤田 善吉	大和田安太郎	新妻 盛	佐藤 三平	海老屋 濯店	石城銀行組合	坂本商店	加藤 丈夫	片倉磐城製絲株式會社
酒井嘉藏	酒井賢吾	佐藤 八郎	白鳥 宏弑	久保木 丈助	佐藤 菊松	中野 常助	吉田 正次	箱崎 恒司	磐崎村會	甲子堂
良品廉賣に勝る商略なし	和洋銅鐵	金物問屋	確實敏捷は釜屋の生命なり	醬油味噌鱈節	現代の民衆詩	川柳あけぼの	主幹 久田 狂水	内科 小兒科 久田 醫院	株式會社 甲子堂	社長 酒井 秀吉

謹賀新年

平町土木建築請負業

丸山慶治
江口忠一
前澤文太郎
丹野幹之丞
猪狩菊三郎
荒川銀治
松本勇平

(平窪村)

安島重三郎
山崎與三郎
金成通
鈴木辰三郎
古川傳一
中野甲藏
下山田嘉一郎

町會議員一同 <small>平町</small>	平藝妓屋組合	平料理屋組合	入山探炭 株式会社 <small>坑務所</small>	古河探炭 株式会社 <small>營業所</small>	小田炭礦 礦業所	東部電力 株式会社 <small>平營業所</small>	二本松電氣株式會社 小名濱支店	磐城無盡商會 <small>植田町</small>	湯本信用 無盡會社	大平自動車部 <small>泉村</small>
坂本龜太郎 <small>植田町 消防組頭</small>	大平千秋 <small>植田町</small>	安田屋吳服店 <small>植田町</small>	秋山製材所 <small>植田町</small>	山田屋本館 山田屋別館 <small>植田町</small>	鐵屋商店 <small>植田町</small>	秋山清太郎 <small>山田村</small>	日出石材工業所 <small>四ツ倉町</small>	赤羽鐵太郎 <small>平町</small>	好間村會議員 高木源治	松本照 <small>平町杉平</small>
杉本喜太郎 <small>高久村 村長</small>	本馬武 <small>高久村 助役</small>	鈴木祐峯 <small>高久村</small>	鈴木兵十郎 <small>高久村</small>	大敷事務所 <small>豐間村</small>	平町案内	中野吳服店	住吉屋本店 <small>主任</small>	佐藤齒科醫院	鈴木郡司	大黑屋勝次店
宍戸屋商店	伊勢屋商店	坂田金物店	矢吹醫院	高久醫院	吉野鐵工所	會川延太郎	松井深 <small>平町水質試驗所 主任</small>	桐原英純	田邊忠造	三井自動車部
桑原整骨院	鶴屋洋品店	御料理 越の屋	平運輸株式會社	山岸幸作	百澤商店	なか屋洋品店	香野利一 <small>平水道課長</small>	遠藤市松	大一屋商店	早川材木店 <small>電話八六二番</small>

和

昭

本町

和

館

五郎

昭和五年一月十五日

發行日 每月一日 十五日
定價 一月十錢 三月三十錢 半年六十錢 一年一百二十錢
郵費共 一錢 郵券代用 一割引
廣告料 一回八十錢 特別欄同

平町長

伏見

彦

衛

長

八

番

五

番

大野村第一尋常高等小學校